

大賞

菊池悦子

< どうして私たちは輝けないのだろう >

< 要旨 >

現在日本の労働者の非正規雇用率は上昇を続け、中でも女性の非正規率は60%に迫っている¹。私自身も高卒後長く、非正規雇用の販売員として働いてきた。

不安定な労働環境で30代後半まで働く中で、非正規という雇用形態への疑問や、将来への不安を感じはじめた。その後、そうした問題についてきちんと考えたいという思いは日増しに強くなっていった。そこで私は38才で社会学を学ぶために大学へ入学し、現在3年生になった。

本レポートでは私の経験を通して、学歴や雇用形態によって階層化された社会の姿、多様さが受け入れられない現在の就職制度の問題点、女性の雇用環境の厳しさとその原因について考察する。

また高等教育を受けることの素晴らしさと、次の世代では貧困を理由に十分な教育を受けられない人をなくすためには何が必要なのか、考えていきたい。

¹ 総務省統計局 労働力調査 2017年4月～6月期

<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/4hanki/dt/index.htm>